

学力向上の取り組みNEWS

～共に学ぼう、共に高め合おう～

SDGsで学ぶこと

一中はSDGsを題材に総合的な学習を進めていますが、SDGsだけを学んでいるわけではありません。もちろん、SDGsの内容についても学習しますが、SDGsで示された課題を解決する過程を学ぶことで、今後（高校生や社会人になったとき）の「学び方」を学んでいます。

SDGsで学んでほしいこと

- ①わからないことは調べる・実験する。
- ②一人で解決できないことは、チームで解決すること。
- ③他者の意見を取り入れることで、新しい視点が生まれること。
- ④さまざまな情報を関連づけて物事を考えること。
- ⑤ICT機器を使って、自信を持って自分の意見を発信すること。

右の資料は、2年生の総合学習で生徒が作成した資料です。

根拠を持つために、書籍やインターネットの情報を集め、実際に野菜を植えて実験をした班もありました。

最後はクラスで発表をし、他の班と自分の班の内容の違いや、似た所などに着目していました。

SDGsで学ぶ一中の総合学習

TVをはじめとするメディアでもSDGsを題材にされる場面が増えてきました。一中では総合学習の時間を使い、SDGsを題材に学びを進めています。SDGsで示される17の目標を達成するために、世界中で取り組みが進められています。つまり、解決できていない問題であり、答えは存在しません。一中の生徒は「答えの存在しない問題に対し、何を根拠としてどのように解決できるのか」を調べて発表することで、自分の意見を発信しています。

本年度から、3年生は総合学習発表会（11月予定）でSDGsの17の目標から、自分が思う課題とそれを解決するための仮説、そして調査した結果や自分の考えを一人ひとり発表します。3年間で学んだ「学び方」を生かし、自分の興味のある内容や今まで学習してきた内容の続きを表現します。

1年生や2年生でも、3年生になったときにしっかりと発表できる準備を進めています。1年生では「誰一人取り残さないためには何が出来る？」というSDGsの本質に迫った学びを、2年生では「持続可能な農業システムについて」班で2ヶ月間ゼミ形式でクラスを解体して学びました。

3年間かけて、SDGsで「学び方」を学び、これからの社会で必要とされる「未知の課題を解決できる力」をつけてほしいと考えています。お子様のiPadに発表資料など、学びの様子が保存されていますので、ぜひご覧ください。

